

推進懇談会 情報公開で提言

4 月から準備本格化

二月二十九日「情報公開推進懇談会」が提言をまとめ、坂井正義会長新大講師から大西弘毅氏に手渡されました。提言は「情報公開は、市民参加の前提であり不可欠。なるべく早く、利用しやすい程度で実施すべき」と結論付けています。市ではこれを受け四月から本格的な準備に入ります。

同懇談会は学識経験者、弁護士、婦人ら九人に委員を委嘱し、昨年十一月九日発行したもので、市民が情報公開にどんな意見をもっているかを聴こうというものです。

委員から自由に意見を述べてもらい、各委員の主な意見を集約し、一般市民の主な発言内容を併記しました。公開の範囲では、原則として役所のものすべてを情報として公開するとし、公文書だけでなく、マイク、フィルム、コンピュータ入力データ、写真、図面なども対象としています。また公開する時は、市民参加を促進する意味から、市民の意志決定の以前、決裁

前の文書も公開すべきという意見も出され、庁内でまとめた情報公開に関する報告書の違いも出ています。公開の除外事項は①個人のプライバシーを侵害するもの②法人に格別な不利益を及ぼすもの③公平な行政運営が妨げられるもの④先達自衛隊の例にならうとされている情報公開のシステムという点では、情報公開の検査場ともいえる情報センターの設置が提案され、コンピュータによる文書管理を導入するという意見も出されました。市ではこの提言を参考に、四月から全庁的なプロジェクトチームを発足させ、条例草案の作成作業に入ります。また、制度化する上で実際のネットワークについても文書管理についても実態調査をすすめています。六十二年度、情報公開制度スタートを目指し、管理体制の確立を図っていきます。

第三次総合計画 入選論文 ⑦

成熟社会における個性化、三次へ流れるとはいえ、工業参加の主張の方向が強まった。この間、日本経済の現状からして、今や国家主導型から、地方計画策定の時代ではなく、地域自らの手で経済の自立と進歩を図らなければならない。

新潟の産業の特性

新潟市は商業集積が高く、有利な交通機能を生かして、商業、特に卸売業は一層の発展を図る事ができると考えられる。製造業の不振である。産業は一次産業から二次

新潟青年会議所経営開発委員会

企業誘致は、地価高、公害などが盛んになり、存続が最も有望であり、育成が必要である。財政的補助投資に、市内の遊休地帯に有志による活動を助成し、知識集約型産業を育成する事が望まれる。行政が十分でないことも、

めざせ地域経済の活性化

市内工業事業所は、約一割が町村でそれが発展し、他産業の活力になるようであればプラスである。

製造業は条件は不利ながらも、複合業種の中企業が多く、数々出てくれば、お互い仕事を分担して、研究、業種転換

工場産業の振興

水産加工工業は、港交通網にめざす。農水産物を生かして新潟を特徴づけた製品を作

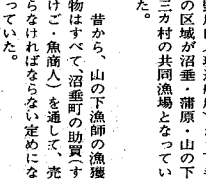
産官・学、それに住民も参加できる形で地域における情報センターが進めなければならぬ。例えば新潟県では高齢化が全国より八年前先行していることなどから、地域ライフスタイルの研究が必要である。

経済情報システムの確立

新潟の街に個性が無い、イメージが希薄。文化の厚みが無いといわれる。港の歴史を、高橋、国際化を推進すべきである。

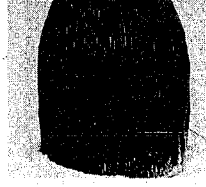
堀を再現する

自治体への要望がますます増加している。財政力は低下しているが、現状である。地域開発がバラバラであって、大規模な施設は、単に大型受け入れ施設の建設のみならず、関連して総合的な街づくりを提唱しているものである。

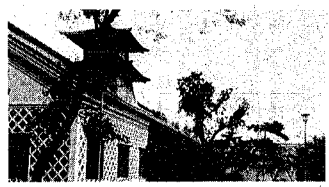


八ツ目の争い

沼垂助買の要求をそのまま受け入れては「困窮の村、立ち行かぬ」と訴訟に及んだ。



その口上書には「三十年前まで沼垂助買は、私どもの八ツ目一本をばらばら買わず、私どもは止むを得ず新潟県に頼って、千八ツ目として買って、沼垂助買は生八ツ目を釣魚の餌に五分高で売って、それから沼垂助買に売るようになった。決して、昔からの慣行ではありません」と。



郷土資料館付近に堀を再現する計画が進められています

新潟市郷土資料館付近に堀を再現する計画が進められています。新幹線と高速度道路は、何よりも交通機能の集積をあげなければならぬ。そして川と海(港)に立寄るを生かして、日本海側の中核として、国際的文化的、商業的、情熱的に、広域経済圏の発展に寄与するのが新潟の役割であると考えられる。

時間	午後 6 時半 ~ 8 時半		
会場	勤労青少年ホーム (古町13番22-2728)		
申し込み	経費を添える会場へ ※開始日のみ、ほかにも 400 円必要		
講習名	開始日	曜日	経費
月曜コース	4. 2	月	月 3,000 円
火曜コース	4. 3	火	月 3,000 円
水曜コース	4. 4	水	月 2,000 円
木曜コース	4. 6	金	月 2,000 円
池坊	4. 2	月	月 3,200 円
小島漁	4. 5	木	月 3,200 円
菖月漁	4. 6	金	月 3,200 円
石川漁	4. 6	金	月 3,200 円
鹿野家 (月曜コース)	4. 2	月	月 2,000 円
(木曜コース)	4. 5	木	月 2,000 円
養神園	4. 4	水	月 1,200 円
手裏	4. 6	金	月 1,200 円 (160)
和	4. 11	水	月 4,000 円
舞臺 (毛筆・ペン・ボールペン)	4. 6	金	月 2,000 円
社交ダンス (初級)	4. 7	土	1,600 円 (110)

相談日時	相談日時
西 保 健 所 毎週水、金曜日午前 9 時 ~ 11 時	西地区保健センター 第 1・3 木曜日午前 10 時 ~ 11 時半
坂井輪地区 第 2・4 木曜日午前 10 時 ~ 11 時半	

月日	時間	会場
3. 19	午前 10 時 ~ 午後 4 時	伊勢新潟通商センター (花園 6)
3. 20		市役所南 (西通 6)
3. 21		新潟火力発電所 (桂山町)
3. 22		ダイエー新潟店 (万代 1)
3. 23	午前 9 時 ~ 午後 5 時半 午後 1 時半 ~ 4 時	新潟イブイターミナル (牡丹山 3)
		原産山山店前 (牡丹山)
3. 24	午前 9 時 ~ 午後 3 時	新潟駅前 (花園 1)

※ 3 月 23 日を除き、正午から午後 1 時まで受け付け休みます。

精神衛生講演会
木田恵子講師「人間関係への助言」
日時 3 月 29 日午後 1 時半 ~ 4 時
会場 中央公民館 5 階ホール
申し込み 3 月 27 日までに、電話で東保健所へ

鳥屋野地区育児講習会
日時 3 月 23 日午後 7 時半 ~ 1 時受け付け
会場 鳥屋野地区保健センター
対象 生後 6、7 カ月の第一子をお持ちの
お母さん 20 人 持参品 母子健康手帳
申し込み 電話で会場へ

子供に喜ばれる卵料理(調理実習)
日時 3 月 27 日午前 10 時 ~ 正午
会場 東保健所
対象 1 ~ 3 歳児の幼児をお持ちのお母さん、または保育者
持参品 エプロン、三角巾、母子健康手帳
申し込み 電話で会場へ

成人病食事相談
日時 3 月 27 日午前 9 時 ~ 11 時
会場 東 西保健所
申し込み 電話で各会場へ

59 年度予防接種 (小児マヒ、二・三種混合) 日程は 3 月 11 日に掲載しました。

地区	月日	会場	時間
水 戸	3. 21	水戸公民館	午前 10 時 ~ 正午 午後 1 時 ~ 3 時
蒲 川	3. 21	蒲川保健所	
鳥屋野	3. 21	(蒲川による相談) 鳥屋野地区保健センター (東保健所による相談もあり) 東保健所	午後 1 時 ~ 3 時
中野小島	3. 22		午後 1 時 ~ 3 時
大 江 山	3. 23	大江山村町集会所	午後 1 時 ~ 3 時

※ 老人保健法「健康手帳」をお持ちの方はご持参下さい。

月日	会場	時間	持参品
3. 21	東保健所	午後 1 時 ~ 3 時半	
3. 22	西保健所	午前 10 時 ~ 正午	母子健康手帳

妊婦の貧血教室
日時 4 月 5 日午後 1 時半 ~ 3 時半
会場 東保健所
申し込み 電話で会場へ 一先着 30 人

「人間関係を良くする話し方勉強会」
日時 3 月 25 日午前 10 時 ~ 正午
会場 北部総合コミュニティセンター
定員 30 人 (先着順、無料)
申し込み 山崎晴夫 (☎28-0677) へ

水道・ガス・電気・電話・NHK
引越しのときはお早目に連絡を